

施設名称		〔40〕 東京都台東区立今戸児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2) 類似施設の管理実績	児童館7館、13こどもクラブ（平成22年10月から14こどもクラブ）					
(3) 経営状況	（22年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,679,789,578円、支出2,542,831,771円、収支差額136,957,807円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	今戸1-3-6					
(2) 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3) 利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。中高生タイム：月曜日から金曜日 午後6：00～午後7：00 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5) 規模	RC3階建て 遊戯室・図書室・音楽室・図工室・第2遊戯室等					
(6) 人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと③その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2) 自主事業	自主事業は行なっていない。					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	42,504,000	43,428,000	43,997,000	42,627,000	42,234,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	42,504,000	43,428,000	43,997,000	42,627,000	42,234,000
決算	委託料	35,032,543	39,074,398	39,733,360	40,773,160	38,709,249
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	35,032,543	39,074,398	39,733,360	40,773,160	38,709,249
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数		日	335	334	333	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度
利用者数		人	25,000	27,094	26,733	21,770

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

- ・中高生活動の広報誌を作成し、桜橋中学校や浅草高校に配布したり、中高生のライブ活動実施では近隣への招待状を挨拶しながら配った。
- ・幼児活動では、保護者の自主企画の支援や要望に応えた幼稚園児対象の活動を実施。
- ・地域の方々と児童館の活動を通して交流し、協力関係を築いている。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成 [2]	(f) 開館時間等の遵守 [2]	(g) 自主事業の成果 [-]	(h) 個人情報保護 [2]
	(b) サービス水準 [2]	(i) 緊急時対応マニュアル [2]	(j) 警備・防犯体制 [2]	
	(c) 職員配置 [2]			
	(d) 職員研修 [2]			
	(e) 案内・接遇 [2]			
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2]	(e) 危険箇所等の確認 [2]	(f) 管理記録の作成・保存 [2]	(g) 業務委託の事前承認 [2]
	(b) 備品の管理 [2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
	(c) 清掃・衛生管理 [2]			
	(d) 施設の修繕 [2]			
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [3]	(d) 利用しやすい環境整備 [2]	(e) 関係団体・地域との関わり [2]	
	(b) 苦情・要望への対応と報告 [2]			
	(c) 利用者数の目標達成 [2]			
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 [2]	(c) 収支計画の達成 [2]	(d) 利用料等の徴収・管理 [2]	
	(b) 経費削減のための取組み [2]			

9. 評価

S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	幼児タイムのプログラム提供方法の改善や中高生を巻き込んでの野外活動を通じた意識啓発を行なう等幅広い事業展開をしている。また、個人情報保護や危機管理は、組織として研修・指導を徹底している。
(2) 施設の維持管理	A	各室の片付けを徹底し、利用者が使いやすい環境整備を行った。また、施設が老朽化しているが、自主的に修繕し、適正に管理されている。
(3) 利用者の満足度	S	遊戯室の床改修工事や震災により利用者が減少したが、幼児から中高生までの幅広い年齢層の自主企画や希望の活動を大切にしているため、「児童館に満足・こどもクラブに代わる児童の見守りに対して安心」との児童や保護者の感想を頂いている。
(4) 歳入歳出	A	事務の効率化や消耗品の一括購入、節電・節水等指定管理者として、職員全体で経費削減の取り組みに努力している。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当 幅広い年齢層が活発に活動しているが、地域ボランティアの受入・幼児の保護者や児童の自主企画、里山の保全活動への取組など様々な人達や活動との出会いを仕掛け、児童の健全育成の拠点として地域に貢献している。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

こどもクラブが併設されていないため、小学生の利用が他の児童館よりも少ないので、小学生も充分遊べる環境整備に努め、中高生までの異年齢のつながりを強化していく。